

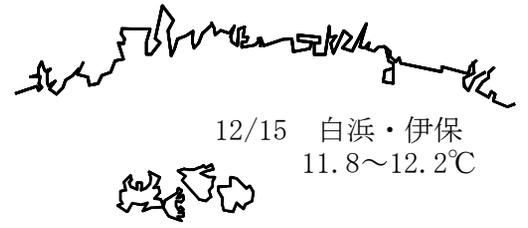
兵庫県のり漁場環境情報 (西播海域 7号)

平成29年12月19日発行
兵庫のり研究所

地先漁場では多種多様な珪藻が多く発生しているため、栄養塩が減少しています。一方、沖合漁場ではこれら珪藻は確認される程度と少なく、窒素は概ね $6 \mu\text{g at / L}$ と平年より高い値で推移しています。

(**栄養塩、珪藻**) 地先漁場においては、キートセロスやスケルトネマといった小型珪藻、リゾソレニアや群体を形成して肉眼視サイズとなる珪藻が多く確認され、一部を除き窒素は $1\sim3 \mu\text{g at / L}$ と低い値であった。沖合漁場において、これらの珪藻は確認される程度と少なく、周期的な季節風による時化があるものの沖合部への拡散は今のところ見られない。

水温図



		前回値	今回値	平年値	昨年値
西播地先	窒素	5.7	4.0	4.5	4.6
	リン	0.64	0.47	0.53	0.49
家島・坊勢	窒素	7.7	6.0	4.9	5.9
	リン	0.80	0.65	0.67	0.69

(12/7) (12/22)

栄養塩 (窒素) 図

平成29年12月18日調査

